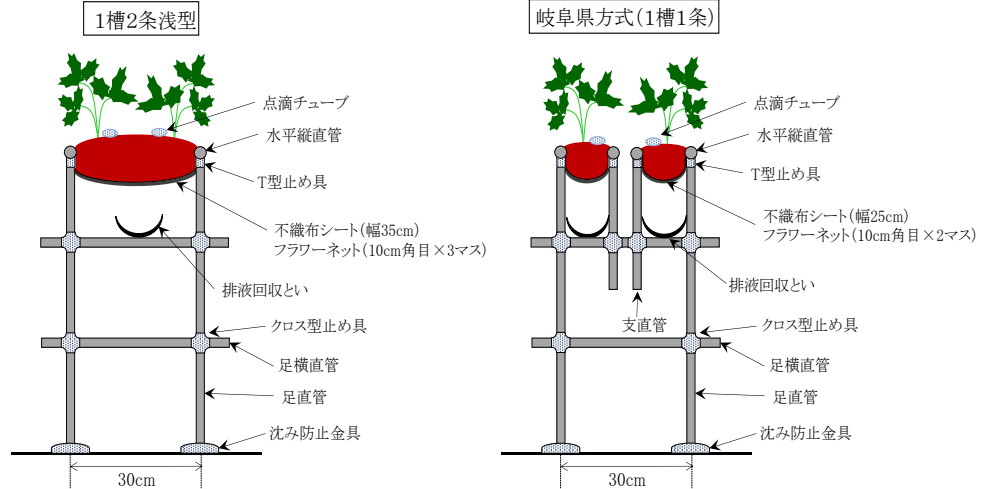


岐阜県農業技術センターニュース No.53

イチゴ高設栽培・1槽2条型栽培ベンチの規格を作成（野菜部）

イチゴ高設栽培「岐阜県方式」は、1槽1条型の栽培ベンチが特徴で新規就農者を中心に導入されていますが、導入コストの低減等を目的に「岐阜県方式」を改造した1槽2条型の栽培ベンチを導入する事例が増えつつあります。しかし、1槽2条型には明確な規格がないため、栽培槽が深くなりすぎ、根腐れ等のトラブルの発生が見受けられます。

そこで、「岐阜県方式」で使用しています排液感知型タイマー給液制御が使用可能な1槽2条浅型栽培ベンチの規格を作成しました。「岐阜県方式」に比べて、直管パイプ等の部材使用量を3～4割削減することができ、「岐阜県方式」と同程度の収量が期待できます。



ローダンセマム「クレールシリーズ」の新品種を育成（花き部）

ローダンセマムはキク科の多年草で、5℃以上あれば花を咲かせるため、冬季でも楽しめる花として人気があります。当センターでも県のオリジナル花きとして品種育成を行い、これまでに花色や花の大きさが異なる4つの品種を「クレールシリーズ」として種苗登録し、年間数万鉢が生産されています。

今回、これまでのクレールシリーズには無かった黄色の花色を持つ「クレールスター」と杏色の花色を持つ「クレールアルバ」を育成しました。これら品種は本シリーズの特徴であるコンパクトな草姿と作り易さを持ち、従来のピンク系花色に新花色が加わることで、市場性の向上に大きく貢献できます。



「レモンパンナコッタ」

やや小ぶりな一重咲きで、花色はレモン色です



「レモンズフレ」

一重咲きで、花弁はレモン色、中心は赤紫色の花です

アグリビジネス創出フェアin東海

令和4年12月1～2日に農林水産省とNPO法人東海地域生物系先端技術研究会が主催するアグリビジネス創出フェアin東海が開催され、この中で東海4県の試験研究機関が連携してアウトリーチ活動をするシンポジウムを開催しました。昨年までの2ケ年は新型コロナウイルスのためWEB開催でしたが今回は会場とWEBのハイブリッド開催となりました。

シンポジウムでは「みどりの食料システム戦略」の推進に繋がる各県の成果紹介として、病害・虫害・土壌肥料関連の講演を行いました。当センターからは「温湿度データに基づいたトマト灰色かび病菌の感染リスク診断」と題し、渡辺病理昆虫部長が発表を行いました。WEB参加が可能なおことから県内の複数の農業普及課からも参加がありました。

展示においても灰色かび病リスク診断と堆肥を原料とした肥料に関する展示を行いました。また、展示において知り合った企業と共同研究について検討が開始されマッチングの良い機会となりました。

令和5年は12月7～8日の開催が予定されています。



令和4年度 農業技術センター研究成果発表会を開催！

当センターと岐阜大学応用生物科学部との共催で、令和4年度の試験研究成果発表会を令和4年2月22日に開催しました。

本年度も新型コロナの感染防止対策のため、Zoomを利用したオンライン配信での開催でしたが、JAなどの関係団体はじめ、県農業普及指導員や岐阜大学の学生など、100名を超える参加を頂き改めて感謝申し上げます。

関係機関と連携して迅速な成果の普及に努めるとともに、頂いたご意見を参考にして、さらに研究開発や技術支援を進めます。



【写真】センター発表会場

人事異動（令和5年4月1日付）

よろしくお願ひします。

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
伊藤 友弘	総務課管理調整係長	長良特別支援学校	川島 明	山県高等学校	総務課管理調整係長
安田 雅晴	野菜部長	(野菜部)	松尾 尚典	郡上農林事務所	野菜部長
堀之内勇人	病理昆虫部長	病虫害防除所	渡辺 秀樹	農政課	病理昆虫部長
柳生 宗紀	果樹・農産物利用部専門研究員	揖斐農林事務所	神谷 仁	揖斐農林事務所	果樹・農産物利用部専門研究員
安田 圭佑	野菜部主任研究員	農業経営課			
加藤 優	病理昆虫部主任研究員	飛騨農林事務所	小島 一輝	飛騨農林事務所	病理昆虫部研究員
宇野 風音	野菜部研究員	農産園芸課	前川 晴希	家畜防疫対策課	野菜部研究員
古田貴世佳	土壌化学部研究員	(新規採用)	工藤 溪汰	中山間農業研究所支所	土壌化学部研究員